

研究課題名	術前心電図の多棘性 QRS 波は冠動脈バイパス術後の予後予測因子として有用である： 単施設後ろ向き観察研
研究の意義・目的	本研究は、大阪公立大学が管理するデータベースに診療情報のデータを登録します。狭心症や心筋梗塞に対して行われる冠動脈バイパス術は侵襲が大きいため、手術後の合併症を減らすために厳格な全身管理が必要です。心電図検査で解析される多棘性 QRS 波は手術後合併症の予測因子として報告が少ないため、本研究では手術前に行われる心電図検査で多棘性 QRS 波の有無を確認し、周術期合併症の予測因子として有用であるかを遡って調べる研究です。
研究を行う期間	機関の長の実施許可日 ~ 2030 年 8 月
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	2020 年 1 月 1 日~2024 年 9 月 30 日の期間に大阪市立大学（現：大阪公立大学）医学部附属病院において、人工心肺を用いた冠動脈バイパス術を受けた方
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせ ていただく試料・情 報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、既往歴、併存疾患、心電図検査、血液検査、術後の合併症】
試料・情報を 利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称	この研究は、公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科麻酔科学のみで行います。 【研究責任者】所属：麻酔科学 氏名：辻川 翔吾
個人情報の取り扱い	この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などのこの研究に関するデータは、すぐには個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されます。 この研究から得られた結果が、学会や医学雑誌などで公表されることはあります。このような場合にも、あなたのお名前など個人情報に関することは含まない形で公表されます。
本研究の 利益相反	本研究の利害関係については、各研究機関で定められた利益相反マネジメントの規定等に従って必要に応じて各研究機関の利益相反マネジメント委員会へ報告を行うことにより、利益相反を管理し研究を遂行します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力を したくない場合	診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 麻酔科学 (担当者氏名) 辻川 翔吾 電話番号：(06) 6645-2186